

## 第4章 保健福祉事業の推進

### 1 健康づくりの推進

#### (1) 健康づくりの推進

健康づくりの支援は、第2次燕市健康増進計画に基づき、特定健康診査や各種がん検診等による早期発見と生活習慣病の予防の推進を図り、生活習慣の改善に努めてきました。

近年では地域の介護予防として介護予防・日常生活支援総合事業が動き始めるなど、高齢者自身がサービスの受け手ではなく、担い手として活躍しており、家庭や地域で若い世代の元気づくりにも活躍されています。今後も高齢者がいきいきと自分らしく生活できることを目指し、関係機関と連携を図り、健康づくりを進めていくとともに医師会と連携した生活習慣病予防対策も引き続き進めていきます。

#### ①健康診査・検診等

##### ■特定健康診査

生活習慣病の予防及び疾病の早期発見・早期治療を目的として、40歳から74歳の市民を対象に、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき実施される特定健康診査について、積極的に受診勧奨を進め、計画的な実施に努めていきます。

#### 【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
対象者(人)		13,827	13,359	12,684	12,203
目標	受診者(人)	8,017	8,120	8,358	7,322
	受診率(%)	53.0	55.0	58.0	60.0
実績	受診者(人)	7,135	7,035	6,704	6,590
	受診率(%)	51.6	52.7	52.9	54.0
計画比	受診率(%)	-1.4	-2.3	-5.1	-6.0

#### 【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
受診者(人)	6,321	6,161	6,017
受診率(%)	54.0	55.0	56.0

## 【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)	
メタボリック シンドローム 予備群	男 性	健診受診者(人)	3,257	3,210	3,037	3,000
		予備群(人)	521	523	482	450
		目標(%)	13.9	12.6	11.3	10.0
		実績(%)	16.0	16.3	15.9	15.0
	女 性	健診受診者(人)	3,878	3,825	3,667	3,590
		予備群(人)	211	213	197	190
		目標(%)	5.4	5.3	5.2	5.0
		実績(%)	5.4	5.6	5.4	5.3

## 【計画】

区分		平成30年度	平成31年度	平成32年度	
メタボリック シンドローム 予備群	男 性	目標(%)	14.0	13.0	12.0
	女 性	目標(%)	5.3	5.3	5.2

## 【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)	
メタボリック シンドローム 該当者	男 性	健診受診者(人)	3,257	3,210	3,037	3,000
		該当者(人)	892	926	915	870
		目標(%)	26.6	26.0	25.4	25.0
		実績(%)	27.4	28.8	30.1	29.0
	女 性	健診受診者(人)	3,878	3,825	3,667	3,590
		該当者(人)	447	493	446	431
		目標(%)	11.0	10.6	10.2	10.0
		実績(%)	11.5	12.9	12.2	12.0

## 【計画】

区分		平成30年度	平成31年度	平成32年度	
メタボリック シンドローム 該当者	男 性	目標(%)	28.0	27.5	27.0
	女 性	目標(%)	11.5	11.0	10.5

■ 後期高齢者健診

75歳以上の高齢者を対象とした健康診査は、新潟県後期高齢者医療広域連合会から、燕市が委託を受けて実施していきます。

【実績】

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
対象者(人)	11,223	11,447	11,768	12,148
受診者(人)	2,471	2,577	2,829	2,900
受診率(%)	22.0	22.5	24.0	23.9

【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
対象者(人)	12,535	12,793	12,635
受診者(人)	3,387	3,454	3,411
受診率(%)	27.0	27.0	27.0

## ■各種がん検診（65歳以上）

死亡率第1位であるがん対策として、がんに関する正しい知識の普及・啓発、がんの早期発見・早期治療等を目的としてがん検診を実施し、受診勧奨に努めていきます。（実績、計画の申込者数、受診者数は65歳以上の数値となっています。）

## 【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
肺がん検診	申込者(人)	8,077	8,290	8,356	8,348
	受診者(人)	6,841	7,085	7,147	7,093
	目標(%)	80.0	87.6	90.6	93.6
	実績(%)	84.7	85.5	85.5	85.0
	計画比(%)	105.9	97.6	94.4	90.8
胃がん検診	申込者(人)	4,570	4,682	4,781	4,498
	受診者(人)	2,866	3,005	2,915	2,761
	目標(%)	60.0	70.1	71.6	73.2
	実績(%)	62.7	64.2	61.0	61.4
	計画比(%)	104.5	91.6	85.2	83.9
大腸がん検診	申込者(人)	5,703	5,900	6,247	6,429
	受診者(人)	4,833	5,101	5,445	5,573
	目標(%)	80.0	89.0	89.5	90.0
	実績(%)	84.7	86.5	87.2	86.7
	計画比(%)	105.9	97.2	97.4	96.3
乳がん検診	申込者(人)	2,201	2,305	2,485	1,822
	受診者(人)	1,298	1,502	1,529	1,382
	目標(%)	60.0	63.5	69.2	75.0
	実績(%)	59.0	65.2	61.5	75.9
	計画比(%)	98.3	102.7	88.9	101.2
子宮がん検診	申込者(人)	2,254	2,358	2,559	2,569
	受診者(人)	1,368	1,522	1,582	1,602
	目標(%)	60.0	63.5	69.2	75.0
	実績(%)	60.7	64.5	61.8	62.4
	計画比(%)	101.2	101.6	89.3	83.2

\*乳がん検診の「申込者」「受診者」は、平成28年度以前は集団検診でのマンモグラフィー検診と医療機関での視触診検診の合計ですが、平成29年度以降は集団検診でのマンモグラフィー検診のみへ変更されました。

**【計画】**

区分		平成30年度	平成31年度	平成32年度
受診率(%)	肺がん検診	47.0	47.8	48.5
	胃がん検診	32.2	36.7	41.1
	大腸がん検診	40.7	43.0	45.3
	乳がん検診	41.9	43.9	45.9
	子宮がん検診	60.9	61.0	61.5

\*受診率は第2次燕市総合計画に基づき平成30年度から変更されています。

<肺がん検診・胃がん検診・大腸がん検診受診率の計算式>

「当該年度の受診者数」/「当該年度の対象者数」×100

<乳がん検診・子宮がん検診受診率の計算式>

(「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」-「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」)/「当該年度の対象者数」×100

【当該年度の対象者数】

(国勢調査人口) - (就業者数) + (農林水産業者数) - (要介護4・5の者の数) - 調整値

**■その他の健(検)診**

各種健(検)診の受診率が向上するよう啓発活動を充実させ、骨粗しょう症検診、糖尿病検診、歯周疾患健診を実施し、健康管理を行っていきます。(実績、計画の申込者数、受診者数は65歳以上の数値となっています。)

**【実績】**

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
骨粗しょう症 検診(65歳~70 歳女性)	申込者(人)	1,145	1,238	1,303	442
	受診者(人)	738	781	853	278
	受診率(%)	64.5	63.1	65.5	62.9
糖尿病検診 (65歳~70歳)	対象者(人)	203	295	360	316
	受診者(人)	55	73	70	47
	受診率(%)	27.1	24.7	19.4	14.9
成人歯科健診 (65歳~70歳)	対象者(人)	712	834		
	受診者(人)	91	105		
	受診率(%)	12.8	12.6		
歯周疾患検診 (70歳)	対象者(人)			1,124	1,409
	受診者(人)			140	190
	受診率(%)			12.5	13.5
長寿歯科健診 (76歳、80歳)	対象者(人)			1,899	1,932
	受診者(人)			315	300
	受診率(%)			16.6	15.5

\*骨粗しょう症検診：平成29年度から節目検診に変更(40・45・50・55・60・65・70歳女性)

\*成人歯科検診は平成28年度から歯周疾患検診(個別検診)に変更(40・50・60・70歳)

\*長寿歯科健診(個別健診：平成28年度から開始(76歳・80歳))

## 【計画】

区分		平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
骨粗しょう症 検診（65歳、70 歳女性）	対象者(人)	1,287	1,263	1,148
	受診者(人)	270	278	264
	受診率(%)	21.0	22.0	23.0
糖尿病検診 (65歳～70歳)	対象者(人)	310	300	290
	受診者(人)	47	45	44
	受診率(%)	15.2	15.0	15.2
歯周疾患検診 (70歳)	対象者(人)	1,809	1,838	1,599
	受診者(人)	289	312	288
	受診率(%)	16.0	17.0	18.0
長寿歯科健診 (76歳、80歳)	対象者(人)	1,780	1,989	1,873
	受診者(人)	303	338	318
	受診率(%)	17.0	17.0	17.0

\*骨粗しょう症検診：平成30年度から申込者を対象者に変更

## ②保健事業

## ■健康手帳の交付（65歳以上）

健康保持のために必要な事項を掲載し、自らの健康管理と適切な医療に役立つ健康手帳を特定健康診査・特定保健指導等の機会を活用して配布に努めてきました。今後は、つばめ元気ががやきポイント手帳の利用を推進していきます。

（実績、計画の配布件数は65歳以上の数値となっています。）

## 【実績】

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
配付件数(件)	51	50	63	53

## 【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
配付件数(件)	4,400	4,800	5,720

\*平成30年度からは、つばめ元気ががやきポイント手帳配布数

## ■特定保健指導（65歳～74歳）

特定健康診査の結果に基づき、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者及び予備群を対象に特定保健指導を実施していきます。

（実績、計画の対象者、実施者数は65歳以上の数値となっています。）

## 【実績】

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
対象者(人)	411	460	493	500
実施者(人)	199	242	280	285
目標(%)	45.0	45.0	50.0	60.0
実績(%)	48.4	52.6	56.8	57.0
計画比(%)	3.4	7.6	6.8	-3.0

## 【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指導率(%)	57.5	58.0	58.5

### ■健康教育（65歳以上）

市民を対象に、集団健康教育を実施しています。また、特定健康診査後の特定保健指導において、メタボリックシンドロームなどに関する健康教育を開催していきます。（実績、計画の延べ参加人数は65歳以上の数値となっています。）

#### 【実績】

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
実施回数(回)	925	906	1,132	1,150
延べ参加人数(人)	13,580	15,510	18,074	19,000

#### 【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
実施回数(回)	1,160	1,170	1,180
延べ参加人数(人)	19,100	19,200	19,300

### ■健康相談（65歳以上）

市民を対象に、健康増進法に準じて、総合健康相談及び高血圧、脂質異常、糖尿病、歯周疾患、骨粗しょう症等、病態別の各重点健康相談を実施しています。また、地域住民の身近な場を活用した相談事業も引き続き、実施していきます。（実績、計画の延べ参加人数は65歳以上の数値となっています。）

#### 【実績】

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
実施回数(回)	310	254	193	200
延べ参加人数(人)	3,251	2,854	1,764	2,000

#### 【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
実施回数(回)	210	210	210
延べ参加人数(人)	2,100	2,100	2,100

■訪問事業（65歳以上）

各種健診の要指導者及び健康相談でフォローアップが必要な方や介護家族等を対象に、家庭訪問を実施し、生活習慣の改善指導や健康相談などを行っていきます。また、栄養指導や口腔衛生指導の充実を図っていきます。（実績、計画の延べ被指導人数は65歳以上の数値となっています。）

【実績】

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
延べ被指導人数(人)	282	246	226	220

\*生活習慣病予防指導・健康増進指導・介護予防指導・栄養指導・口腔衛生指導等

【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
延べ被指導人数(人)	220	220	220

■機能訓練事業（65歳以上）

障がいの有無にかかわらず、その人らしく生活できることを目指し、病気やけが、老化など心身の機能低下のある人、元気になりたい人、認知症を予防したい人などを対象に、機能の維持向上をはじめ、交流によりやる気や自信を増やすための事業を引き続き、実施していきます。（実績、計画の延べ参加人数は65歳以上の数値となっています。）

【実績】

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
実施回数(回)	49	46	37	15
延べ参加人数(人)	704	1,195	649	379

\*生き生き教室はH28年度で終了

【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
実施回数(回)	12	12	12
延べ参加人数(人)	300	300	300

### ③高齢者生きがい事業

高齢者が生きがいを持って継続的に参加できるよう、身近な社会資源を活用した場の確保を図るとともにプログラムを充実してきましたが、介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）の開始に伴い、各事業を見直しました。

#### ■生きがい活動支援通所事業

要支援・要介護認定を受けていない65歳以上のひとり暮らしの高齢者等を対象に、介護予防や生きがいづくりのために、日常動作訓練、趣味活動、健康教室などを行うデイサービス事業を実施してきましたが、介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）の開始に伴い、当事業は廃止となりました。

#### 【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
登録者数	目標(人)	84	90	97	103
	実績(人)	89	93	94	95
	計画比(%)	106.0	103.3	96.9	92.2

#### ■高齢者交流ホーム事業

要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者を対象に、介護予防や生きがいづくりのために、体操やゲームなどを行う場を提供してきましたが、介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）の開始に伴い、当事業は廃止となりました。

#### 【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
登録者数	目標(人)	136	100	110	120
	実績(人)	77	71	75	60
	計画比(%)	56.6	71.0	68.2	50.0

#### ④食育事業（65歳以上）

総合的な地域ぐるみの食育推進の視野を持ち、地産地消、食文化伝承、手作りの良さ、人とのふれあいを強化することにより、食を通して心と体が豊かになることを目指し、食育関係者（健康・教育・農林等）の協働のもと食育推進計画にもとづいた事業の展開を図っていきます。（実績、計画の延べ参加人数は65歳以上の数値となっています。）

##### 【実績】

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
実施回数(回)	37	42	46	50
延べ参加人数(人)	9,425	9,879	12,294	12,500

##### 【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
実施回数(回)	50	50	50
延べ参加人数(人)	13,000	13,000	13,000

#### ⑤訪問歯科健診事業

在宅の要介護者等に対して、県の訪問歯科健診事業を実施しています。新たに、その事業を活用し、初めて要介護3に認定された在宅の方への「歯っぴー健診」を徹底することとし、口腔ケアで肺炎を予防し介護状態の悪化を防ぎ、そしゃく・えんげ機能を維持・回復することで、生活の質の向上を図っていきます。

##### 【実績】

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
歯科訪問受診者数(人)	51	54	29	28
歯っぴー健診受診者数(人)	10	10	8	10

##### 【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
歯科訪問受診者数(人)	30	32	34
歯っぴー健診受診者数(人)	12	14	16

## 2 いきいきと活躍できる地域社会づくり

### (1) 高齢者の社会参加と活動の場の整備

高齢者が生涯学習やスポーツ活動、趣味活動等に積極的に参加するなど、生きがいを持って生活していけるよう、活動の場を提供します。

また、地域社会を支えるためには高齢者自身がサービスの受け手としてだけでなく、担い手になることが期待されています。

#### ①社会参加事業

##### ■敬老事業

75歳以上の高齢者を対象に、それぞれの地域において敬老会事業を開催していきます。なお、燕地区においては、公民館事業として実施し、吉田地区、分水地区においては、まちづくり協議会へ事業を委託して実施していきます。

また、100歳、95歳、米寿の方を対象に、敬老週間に記念品等を贈呈します。

#### [実績]

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
敬老会	参加者数	目標(人)	2,700	2,650	2,700
		実績(人)	2,687	2,933	2,889
		計画比(%)	99.5	110.7	107.0
敬老記念 品等贈呈	対象者数	目標(人)	600	650	680
		実績(人)	609	604	576
		計画比(%)	101.5	92.9	84.7

#### [計画]

区分		平成30年度	平成31年度	平成32年度
敬老会	参加者数(人)	2,900	2,900	2,900
敬老記念品等贈呈	対象者数(人)	600	600	600

■ 高齢者の学習活動

高齢者及び一般市民が、気軽に参加できる「つばめ目耕塾」などの講座や教室を開催することで、学習の場を提供していきます。そして、いきいきとした人生を送るための手助けとなるように、その内容の充実にも努めていきます。

また、地域活動を活性化させるために、公民館で活動する高齢者や各種サークル等へ、情報提供など様々な面から支援していきます。

■ 高齢者のスポーツ活動

高齢者が健康でいきいきと暮らせるように、運動やスポーツをしたことの無い人にも、気軽にできる高齢者スポーツや健康維持に効果のある運動プログラムを紹介し、興味や関心を持ってもらうきっかけづくりをするとともに、体育協会や総合型地域スポーツクラブなどのスポーツ推進団体、社会福祉協議会や老人クラブ連合会などの関係団体と協力して、高齢者にニーズに合ったスポーツ教室やスポーツイベントを開催していきます。

②施設の利用

■ 老人福祉センター

高齢者の健康増進とレクリエーションのために、老人福祉センター（2か所）の運営や運営費の補助を行っていきます。

【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
利用者数	目標(人)	50,000	35,000	35,000	35,000
	実績(人)	37,067	36,247	34,962	35,000
	計画比(%)	74.1	103.6	99.9	100.0

【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
利用者数(人)	35,000	35,000	35,000

## ③老人クラブ活動の支援

## ■老人クラブ補助事業

単位老人クラブと老人クラブ連合会に対して補助金を交付し、健康づくりや介護予防、高齢者の孤立防止や交通安全、防災など、広い範囲において社会貢献の担い手としての活動を支援していきます。

会員数が減少していることから、今後も事務局との連携を図りながら、魅力あるクラブづくりや会員の増加策についても積極的に支援していきます。

## 【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
クラブ数	目標(クラブ)	94	84	84	84
	実績(クラブ)	84	84	85	85
	計画比(%)	89.4	100.0	101.2	101.2
会員数	目標(人)	5,200	4,300	4,300	4,300
	実績(人)	4,354	4,226	4,140	4,049
	計画比(%)	83.7	98.3	96.3	94.2

## 【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
クラブ数(クラブ)	85	85	85
会員数(人)	4,100	4,100	4,100

## ④就労支援

## ■シルバー人材センター運営費補助事業

高齢者に向いている仕事を引き受け、会員の経験や技能に応じて仕事を提供する団体であるシルバー人材センターに対して、その運営費について補助金を交付し、シルバー人材センター事業を支援していきます。

また、シルバー人材センターの健全運営が維持できるよう、会員組織活動の強化や業務発注量の拡大などについても積極的に支援をしていきます。

## ⑤外出支援

### ■公共交通運行事業

高齢者の健康増進のため「生きがい活動」の支援や一般市民の公共施設の利便性を図るため、循環バス「スワロー号」を運行していきます。

また、高齢者ニーズへの更なる対応と、目的地へより行きやすく、使いやすいサービスを提供するため、予約制乗合ワゴン車「おでかけきららん号」を運行していきます。

さらに、弥彦村とともに、交流人口の増加を図るため、弥彦・燕広域循環バス「やひこ号」を運行していきます。

### 3 地域全体で支える基盤整備

---

#### (1) 安心して暮らせる地域づくり

高齢者が支援や介護を要する状態となっても必要な相談や医療、介護サービス等が適切に受けられるよう、在宅医療・介護連携及び相談支援の充実とともに、高齢者等の安全確保のため、緊急時における連絡体制の整備に努めます。

##### ①防災対策の強化

###### ■避難行動要支援者名簿の整備

災害時に自力または家族の支援だけで避難することが困難な方を、本人から同意を得たうえで避難行動要支援者名簿に登録し、災害時における安否確認、避難支援や、平時における地域での見守り活動に役立てるとともに、支援者に対する名簿情報の提供手続きについて周知を図ります。

また、名簿の更新については、自治会長や民生委員児童委員などと連携を図りながら推進していきます。

###### ■福祉避難所の設置・運営

災害時に指定避難所での避難生活を送ることが困難な高齢者や、障がい者などの方が安心して避難生活を送ることができるよう、福祉避難所設置・運営マニュアルを作成しました。今後も市の防災訓練等に合わせ、平成 29 年度からはじめた災害時を想定した関係者による情報伝達訓練など、災害発生時からの福祉避難所の開設までの訓練を実施します。

また、広域的な災害支援体制の構築については、燕市地域防災計画と整合性を図ります。

## (2) 在宅サービスと施設サービスの提供

地域においてそれぞれの生活のニーズに合った住まいが提供され、また、生活支援サービスや施設サービス等を利用しながら個人の尊厳が確保された生活が実現されるよう、生活支援サービス等の充実に努めます。

### ①在宅サービスの充実

#### ■軽度生活支援事業

おおむね 65 歳以上のひとり暮らし、高齢者のみの世帯で日常生活上の援助が必要な高齢者を対象に、介護予防や生活支援のために援助員を派遣しています。

また、軽易な日常生活上の援助につきましては、介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）の開始に伴い移行しました。

#### 【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
利用者数	目標(人)	24	24	24	25
	実績(人)	15	17	14	2
	計画比(%)	62.5	70.8	58.3	8.0

#### ■配食サービス事業

おおむね 70 歳以上のひとり暮らし、高齢者のみの世帯で世帯員全員が要支援・要介護認定を受けている人などを対象に、安否確認を目的にした配食サービスを週 2 回以内で実施していきます。

#### 【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
利用者数	目標(人)	127	120	122	125
	実績(人)	105	99	95	99
	計画比(%)	82.7	82.5	77.9	79.2

#### 【計画】

区分	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
利用者数(人)	110	110	110

### ■ 緊急通報システム設置事業

65歳以上のひとり暮らしの高齢者等を対象に、急病や災害時に迅速な対応を図るために、緊急通報装置を貸与していきます。

この事業については、広報等を通して周知を行いましたが、利用者数は横ばいのため、第6期からの利用ニーズに合わせ、平成27年度より新たに目標値設定しました。

今後も、高齢者がさらに安心して在宅で生活ができるよう支援していきます。

#### 【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
利用者数	目標(人)	380	130	140	150
	実績(人)	115	123	139	140
	計画比(%)	30.3	94.6	99.3	93.3

#### 【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
利用者数(人)	138	139	140

### ■ 高齢者徘徊探知システム貸与事業

徘徊の見られる認知症高齢者を介護している家族を対象に、認知症高齢者が徘徊した場合に早期に発見できるようにするため、探知器（携帯GPS）を貸与していきます。

今後も、地域包括支援センターなどと連携して利用の促進を図ります。

#### 【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
利用者数	目標(人)	4	7	8	9
	実績(人)	5	3	3	2
	計画比(%)	125.0	42.9	37.5	22.2

**【計画】**

区分	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
利用者数(人)	2	2	2

**■老人日常生活用具給付事業**

65歳以上のひとり暮らしで、認知症や心身機能が低下している人を対象に、在宅生活における安全を図るために、火災警報器、自動消火器及び電磁調理器の給付を行います。

今後も、利用しやすい制度内容を検討し、地域包括支援センターなどと連携して利用の促進を図ります。

**【実績】**

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
利用者数	目標(人)	7	3	3	3
	実績(人)	2	1	0	1
	計画比(%)	28.6	33.3	0.0	33.3

**【計画】**

区分	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
利用者数(人)	5	5	5

**■高齢者・障がい者向け住宅整備補助事業**

おおむね 65 歳以上の高齢者で、要支援・要介護認定を受けている人などを対象に、世帯の収入の状況に応じて、バリアフリーなど、自宅の改造に要する費用の一部を補助していきます。

**【実績】**

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
申請件数	目標(件)	25	20	20	20
	実績(件)	18	19	17	20
	計画比(%)	72.0	95.0	85.0	100.0

## 【計画】

区分	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
申請件数(件)	20	20	20

## ■ 高齢長期入院精神障がい者への支援

精神障がい者については、約半数が 65 歳以上の高齢者となっていることを踏まえ、退院後に地域移行する精神障がい者にも高齢者が含まれると考えられます。

そのため、精神障がい者のニーズを把握し、地域生活への移行を促進するとともに、退院後の居住の場の確保や地域生活を支える介護保険サービス等を提供していきます。また、障がい福祉担当課との連携を図り適切に取り組んでいきます。

## ■ 福祉タクシー介護料金助成事業

要介護 3、4、5 の認定者で、福祉タクシーを利用の際、ストレッチャーを使用しなければ移動ができない方を対象に、ストレッチャー利用介護料金の一部を助成していきます。

## 【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
延べ利用人数	目標(人)	10	19	19	19
	実績(人)	6	4	9	9
	計画比(%)	60.0	21.1	47.4	47.4

## 【計画】

区分	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
延べ利用人数(人)	8	8	8

■寝具乾燥サービス事業

要介護3、4、5の認定者で、寝具の衛生管理が困難な方を対象に、寝具乾燥・消毒及び丸洗いの費用を助成していきます。

【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
利用者数	目標(人)	44	40	40	40
	実績(人)	44	50	45	33
	計画比(%)	100.0	125.0	112.5	82.5

【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
利用者数(人)	33	31	29

■紙おむつ支給事業

要介護1から要介護5の認定者で常時紙おむつを必要とする方を対象に、経済的負担の軽減を図るために、紙おむつ券を支給していきます。

今後も利用者の増加が見込まれることから、介護保険の地域支援事業と連携して、サービスの維持に努めます。

【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
利用者数	目標(人)	1,550	1,550	1,609	1,668
	実績(人)	1,555	1,517	1,545	1,550
	計画比(%)	100.3	97.9	96.0	92.9

【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
利用者数(人)	1,550	1,550	1,550

### ■理髪サービス助成事業

要介護3、4、5の認定者を対象に、市内の理容店の出張理髪サービス費用の助成を行っていきます。

#### 【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
利用者数	目標(人)	75	45	45	45
	実績(人)	43	40	47	45
	計画比(%)	57.3	88.9	104.4	100.0

#### 【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
利用者数(人)	45	45	45

### ■社会福祉法人等による生計困難者に対する利用者負担軽減事業

市では市民税非課税世帯で一定の要件に該当する方を対象に、社会福祉法人等が提供するサービス費用の利用者負担額軽減制度を実施しています。

平成27年度に市の特例的な軽減制度から国の基準を適用した制度への見直しを行いました。

#### 【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
目標	対象者数(人)	650	検討	実施	実施
	助成法人数(法人)	12	検討	実施	実施
実績	対象者数(人)	585	204	173	185
	助成法人数(法人)	11	9	10	11
計画比	対象者数(%)	90.0	—	—	—

#### 【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
対象者数(人)	190	194	199
助成法人数(法人)	12	12	12

■在宅介護保険サービス利用者負担軽減事業

市民税非課税世帯で一定の要件を満たす生計困難者が在宅で自立した生活を営めるようにするために、「社会福祉法人等による生計困難者に対する利用者負担軽減事業」とは別に、在宅の介護保険サービス利用料の一部を軽減していきます。

【実績】

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
対象者数	目標(人)	30	35	40
	実績(人)	22	20	15
	計画比(%)	73.3	57.1	37.5

【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
対象者数(人)	20	20	20

②施設サービスの充実

■養護老人ホーム入所措置事業

養護老人ホームは、65歳以上の高齢者等で環境上及び経済的理由により在宅での生活が困難な方を対象とした入所施設です。

今後も、近隣の市との連携により入所施設の確保を図るとともに入所者に対して必要な支援を行っていきます。

【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
入所者数	目標(人)	28	28	28	28
	実績(人)	24	26	28	30
	計画比(%)	85.7	92.9	100.0	107.1

【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
入所者数(人)	28	28	28

### ■生活支援ハウス運営事業

生活支援ハウスは、60歳以上のひとり暮らしの方で、家族による援助を受けることが困難で、高齢等のため独立して生活することに不安な方を対象とした入所施設です。

生活支援員を配置し、介護機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送ることができるよう支援していきます。

#### 【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
入居者数	目標(人)	10	9	9	9
	実績(人)	8	10	8	10
	計画比(%)	80.0	111.1	88.9	111.1

#### 【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
入居者数(人)	10	10	10

## (3) 介護人材の確保・育成

### ■介護人材確保育成事業

市内に住所がある介護事業所を対象に、事業所が負担する介護職員初任者研修・実務者研修受講費用及び介護福祉士資格取得に係る費用の一部を補助することにより、介護の現場で必要な資格の取得を支援し、市内の介護事業所に勤務する介護職員の処遇改善と離職防止に取り組めます。

平成30年度からは喀痰吸引等研修受講費用に対しても補助を行い、介護職員のスキルアップと定着促進を図ります。

#### 【実績】

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
対象事業所数(事業所)	—	—	13	19
対象職員数(人)	—	—	29	33

#### 【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
対象事業所数(事業所)	22	22	22
対象職員数(人)	80	80	80

## 4 地域における相互支援システムづくり

### (1) 高齢者の家族への支援

認知症関連事業と地域の社会資源を活かした一体的な取り組みにより、認知症高齢者や家族等への支援の充実に努めます。

#### ① 高齢者の家族への支援

##### ■ 家族介護者交流事業

家族介護者を対象に、一時的に介護から解放し、心身の元気回復を図るために、旅行などの交流事業を実施してきました。現在は、各地域で開催される身近なオレンジリングカフェ等に役割を移行しました。

##### 【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
利用者数	目標(人)	50	50	50	-
	実績(人)	87	53	37	-
	計画比(%)	174.0	106.0	74.0	-

##### ■ 生活支援短期入所事業

介護者の急な事情などにより、一時的に自宅などでの介護が困難な高齢者を対象に、介護保険サービスとは別に、短期入所事業を実施していきます。

##### 【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
延べ利用者数	目標(人)	54	55	57	60
	実績(人)	86	39	58	90
	計画比(%)	159.3	70.9	101.8	150.0

##### 【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
延べ利用者数(人)	70	70	70

\*事業の性質上、年度により利用数の変動があり、4か年の平均にしました。

## ■在宅介護手当支給事業

在宅で要介護3以上の認定を受けている人を介護する家族を対象に、介護者の精神的、経済的な負担の軽減を図るために、在宅介護手当を支給します。

### 【実績】

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み)
支給人数	目標(人)	620	740	747	754
	実績(人)	685	674	680	685
	計画比(%)	110.5	91.1	91.0	90.8

### 【計画】

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度
支給人数(人)	685	685	685

## ②家族等介護者の支援

家族等の介護者が抱えている問題は、精神面や体力での疲れなど自身の健康、仕事との両立、経済面等、多岐にわたっていることから、地域の中で孤立することなく、また、介護をしながら働き続けることができる社会を目指し、介護者の身体的・精神的な負担を軽減できるよう支援に努めます。

在宅介護の継続を支援するとともに、家族介護者の負担軽減を図るため、小規模多機能型居宅介護や短期入所生活介護（ショートステイ）の充実を図ります。

## ③地域で支えあう仕組みづくり

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加、認知症高齢者が年々増加していることから、地域で支えあう仕組みづくりを更に進めていくことが必要となっています。

そのため、社会福祉協議会と連携し、ふれあい、いきいきサロンなど、住民相互の支えあい活動や見守りなど「地域共生社会」づくりを支援するとともに、福祉のまちづくりを推進します。